

こんにちは 野々市市議会です



わくわくドキドキの新1年生

市内の5小学校では、587人の新1年生が誕生

平成28年度予算等の議案を審議 ... 2P

議案の議決結果一覧 ... 4P

3月定例会一般質問9人が登壇 ... 5P

議会人事、会派人事、
6月定例会予定ほか ... 14P

市民の声 ... 16P

※写真は、未来の有権者（御園小学校 入学式当日の1コマ）掲載
用に関係者のご了解をいただいています。

議会だより

9号

2016年(平成28年)

過去最大の予算規模

平成28年度 当初予算総額 297億5700万円を可決

御園小学校エアコン設置事業費などを含む平成27年度会計補正予算も

平成28年度第1回3月定例会を3月1日から3月22日までの22日間の日程で開会し、栗市長から提出された平成28年度一般会計予算をはじめ、金沢市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結についてなど市長提出議案25件、議会議案2件を全員一致ないしは賛成多数でいずれも可決しました。また、固定資産評価委員会委員の選任、市副市長の選任などの3件に同意しました。

民生費では、昨年に比べ民間保育所の運営費負担金の増などで5億6000万円の増加、教育費では小中学校の体育施設の改修などで1億3000万円の増加となりました。また、歳入に対しての歳出の不足分を市の財政調整基金から10億円繰り入れた予算となっています。

その他、「憲法違反の安全保障関連2法の廃止を求める意見書採択についての請願」1件を賛成少数で不採択としました。

議案を 審査しました

公衆街路灯新設取替補助

600万円

Q 連合町内会から出された公衆街路灯の新設要望件数に対してどれだけ予算措置できたか。また、LED化による効果の検証をしているか。

A 平成28年度は487件の要望があったが予算で割り当てできるのは318件。1基あたり月額108円安くなる試算が出ており、年間約53万円電気料節減の効果が出ていると見込まれる。



街路灯（LEDタイプ）

白山野々市広域事務組合 負担金（ごみ処理関係）

2億7600万円

Q 白山市と野々市市のごみの排出割合と、負担金の割合はどうなっているのか。

A 処理量合計では年間4万3000トン（一昨年実績）。本市がそのうち32%となっている。また、負担金は人口割8割、処理量割2割の合算で算出される。



市内のごみステーション

JR野々市駅事務手数料 （歳入予算）

342万円

Q 野々市駅での切符や定期券の売上金額は市で把握できているのか？

A JR西日本と手数料収入について契約を締結している。各乗車券の売り上げの5%定期券の売り上げの1.8%などが市に歳入として入っている。平成26年度は360万円が歳入された。



JR野々市駅 北口

放課後児童健全育成事業費

9000万円

Q 放課後児童クラブと議員との懇話会の中で、放課後児童健全育成事業運営費補助の支払方法について入金が遅



学童保育関係者との懇話会

ひとり親家庭学習支援事業 生活困窮者自立支援事業 （子どもの学習支援）

62万円

181万円

Q 生活困窮者自立支援事業の学習支援の具体的な内容は、

A NPO法人への委託により、小中

館野小学校大規模改修事業 （実施設計費）

1400万円

Q 館野小学校の大規模改修の時期はいつになるのか。

A 平成29年度の実施工事に向け、平成28年度は実施設計としてどこを直すのかの作業を行う。



館野小学校

金沢市との連携中枢都市圏 形成に係る協約締結

Q 金沢市との連携中枢都市圏形成の連携協約締結について、市民への説明がされていない。国の要綱では、「あらかじめ、住民説明会等を通じて、協約案の趣旨及び具体的内容を周知する」よう求めているではないか。

A 事前周知の手続きは事後にはなるが、今後広報を通じて行っていく。まず締結が先で、具体内容は今後詰めていく中で市民に周知していく予定である。

人 事

野々市市副市長

常田 功二（徳用町）

野々市市固定資産
評価審査委員会委員

小堀 一雄（三日市町）

野々市市固定資産
評価員

常田 功二（徳用町）

選 挙

野々市市選挙管理委員・補充員
各4名、計8名を選出



五十川 員申 議員

本市におけるオープンデータの窓口を一元化せよ！

窓口を秘書広報課に一元することが有効であると判断しました。



北九州市視察で頂いた約50ページにもわたる人材育成基本方針

Q 今、行政の取り組みは、民間からアイデアをもらい、判断して進めたり、民間や市民と協働して活動していくことも多くなっています。アイデアを判断するには職員にも知識が必要です。また、行政への相談は、所管する窓口へ行きませんが問題解決には多角的な視野持つての考察が必要です。第一次総合計画の中でも人材育成に關しての取り組みは示されていますが、市長の本市における人材育成の基本方針について教えてください。

A 市長 ●本市においての人材育成基本方針は、公務員として全体の奉仕者であることの自覚を持つこと、よりよいまちづくりのための意欲を持ち続けること、そして住民から信頼される職員としての資質を高める事の3つの基本理念を定めて、コミュニケーション能力や政策形成能力、経営能力を求める能力としております。

Q 職員のモチベーションアップの為に、どのような仕事を経験すれば、どのような職種に何年後になれるかキャリアの透明化を図るためにジョブローテーション（計画的人事異動）モデルを示せ。

A 市長 ●具体的なジョブローテーションモデルの作成は考えていない。今後とも若手職員の定期的な異動によって幅広いキャリア形成に努め、職員個々の能力発揮につなげていきたい。

Q 9月の一般質問時に、オープンデータに関する窓口は一元化しないとデータを求める側も、困るので一元化を提案したができなかった。そこで、この一般質問までに実際に執行部が提示した方法でオープンデータの請求を試してみたところ、公開までに手続きがスムーズにいかない所があった、本市においてもオープンデータ推進を掲げているいじょう、請求者が分かりやすい状況を作る必要がある。そこで、現実も踏まえ本市におけるオープン

データ窓口の一元化をもう一度提案する。

A 企画振興部長 ●情報の集約化や利用者の利便性等を検討した結果、窓口を秘書広報課に一元することが有効であると判断しました。

Q 本市のウェブサイトに掲載されている情報は全て、著作権で保護されており厳密に言えば例えば町会長がウェブサイトには有な情報が載っていたらといって印刷して、町内会に配布するというのもできません。本市ウェブサイトにおける著作権表記を2次利用可能なものへ見直せ。これによりオープンデータの推進も行える。

A 企画振興部長 ●ご提案の2次利用につきましては、今後検討させていただきたいと思う。

野々市市オープンデータ化の推進 (http://www.city.nonoichi.lg.jp/hisyo/opendata/opendata_top.html) こちらのページで、オープンデータの開示請求に関する手続きなどをご覧ください。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/07o8lg>

議決結果一覧

平成 28 年 3 月定例会		○＝賛成、×＝反対 ※議長（早川 彰一）は採決に加わりません。																
	議 案 名	議 決 日	議 決 結 果	五十川員申	北村大助	馬場弘勝	安原透	宮前一夫	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	早川彰一	尾西雅代	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第 1 号	平成 27 年度野々市市一般会計補正予算（第4号）について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第 2 号	平成 27 年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第 3 号	平成 27 年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第 4 号	平成 28 年度野々市市一般会計予算について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第 5 号	平成 28 年度野々市市国民健康保険特別会計予算について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第 6 号	平成 28 年度野々市市後期高齢者医療特別会計予算について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第 7 号	平成 28 年度野々市市介護保険特別会計予算について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第 8 号	平成 28 年度野々市市水道事業会計予算について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第 9 号	平成 28 年度野々市市公共下水道事業会計予算について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第10号	野々市市情報公開条例等の一部を改正する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第11号	公益的法人等への野々市市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第12号	非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第13号	野々市市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第14号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第15号	野々市市税条例の一部を改正する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第16号	中部圏の都市開発区域における市税の課税の特例に関する条例を廃止する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第17号	介護保険法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第18号	野々市市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第19号	野々市市建築審査会条例の一部を改正する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第20号	野々市市行政不服審査会条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第21号	野々市市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第22号	金沢市及び野々市市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第23号	市道路線の廃止について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第24号	市道路線の認定について	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第25号	野々市市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	3月 1 日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第26号	野々市市副市長の選任につき同意を求めることについて	3月22日	同 意	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第27号	野々市市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	3月22日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議会議案第1号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・増員を求める意見書	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議会議案第2号	奨学金制度の改善を求める意見書	3月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
請願第1号	憲法違反の安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備）の廃止を求める意見書採択についての請願	3月22日	不 採 択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	○



西本 政之 議員

教職員の多忙解消に具体的に取り組め

出退勤時間、業務内容を記録する等、積極的に取り組む

- Q** 教職員の多忙は全国的に問題となっている。本市でも例外なく職員は多忙に苦しんでいる。多忙解消に具体的にどの様な対策をとってきたのか。
- A** **教育長** ●会議の削減やノー残業デー、ノー部活デー等に取り組んでいる。今後は、指導要領の電子化等で事務の効率化の方法を検討したい。しかし私は、多忙を根本的に解消するには国の現行職員の定数を改善することが必要であると思っており、要望等で実現に向けて努力していきたいと考えている。
- Q** ブラック企業と化している学校の労働環境を改善するために、大胆な決断と対策が急務と考える。
- A** **教育長** ●校長会議において、職員のきめ細かい健康管理を行うように指示した。また、出退勤時間や業務内容を記録することで、健康管理と学校経営のあり方を見直したいと考えている。その他、特別支援員の増員、外部人材の活用等にも取り組んでいる。
- Q** 学校現場の労働安全衛生委員会の実態はどうか。

- A** **教育長** ●28年度からは検討していきたい。
- Q** 少人数学級や事務補助定数等の国・県の基準を越えて、野々市市独自でやってやるぞという気概はないか。
- A** **教育長** ●県教委との人事関係の協議事項であり、引き続き要請していきたい。
- Q** 金沢市夜間急病診療所の小児科の運営について、病院の機能分化が進んでいない中で勤務医の出向と言うことに矛盾を感じる。中枢市である金沢市に対して本市が否と言えるのか。
- A** **市長** ●小児の夜間急病体制が連携中枢都市圏により一歩前進する。勤務医が疲弊している現状は承知しているので医師会などと意見交換をして考えたい。
- Q** 理解を深めるには説明が十分である。
- A** **市長** ●これまで総務産業常任委員会において、順次報告している。具体的な取り組みの進捗状況については、随時、常任委員会で報告したい。

中枢都市圏構想について

- Q** 具体的な取り組みはこれからという中で、議決することに抵抗を感じる。野々市市民の為に有益な連携にすることを、市長の口から明言せよ。
- A** **市長** ●それぞれの市町がその強み、個性や特徴を持ち寄って連携することが一層の発展につながり、それぞれの市民の利益にもつながると確信している。市民にとって有益な連携となるように努めていきたいと思っている。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/BcsvK1>

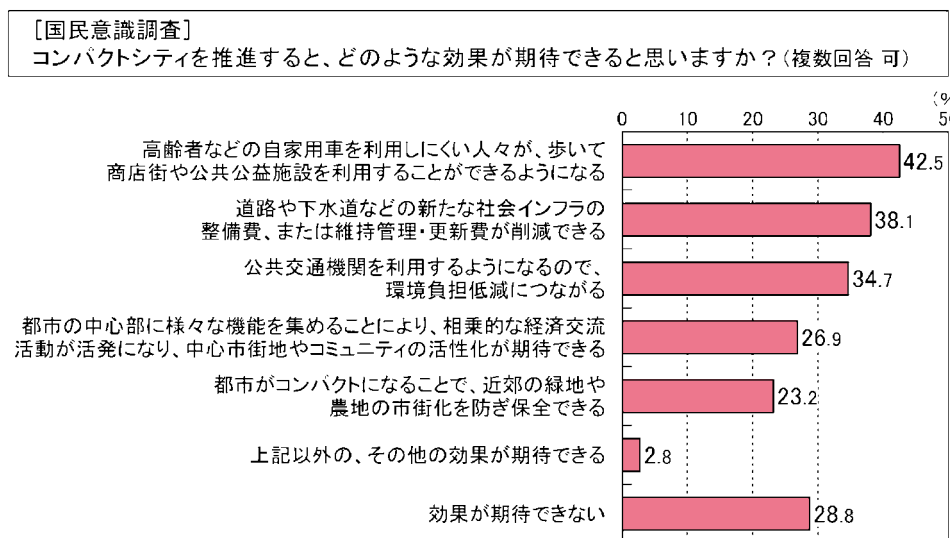


馬場 弘勝 議員

集約型まちづくりの実現を目指す「野々市版コンパクトシティ」とは？

広域的なネットワーク強化により、さらに経済交流活動の活性化を図っていくこと。

- Q** 新年度予算概要には「立地適正化計画を作成し、野々市版コンパクトシティの実現を目指す」と示されている。コンパクトシティ構想とは、生活に必要な都市の機能を集約して、効率的な都市を目指すものであるが、市長の思い描く「野々市版コンパクトシティ」のイメージは？
- A** **市長** ●本市は土地区画整理事業の先進地として、これまで都市基盤整備を行ってきたことにより、「コンパクト」な市街地の形成が進められている。今後も、広域的なネットワーク強化により、経済交流活動の活性化を図ることが、「野々市版コンパクトシティ」のイメージだと思っている。
- Q** 他の市町と比較して、どのような特徴をもつのか？
- A** **市長** ●早い時期から計画的にコンパクトで利便性の高い市街地の形成を推進してきたことから、将来に渡る持続可能な都市構造を目指し易くなることと、基本となる「市民協働のまちづくり」によって、市民の皆さんの思いを反映させることができるという点が特徴だと思っている。



〔資料〕 国土交通省「国民意識調査」

- Q** 「立地適正化計画」の策定方法について、市民や商工団体との合意形成はどのように行うのか？
- A** **市長** ●農業委員会、商工会及び連合町内会の各会長が委員となっている「都市計画審議会」
- Q** 「都市計画マスタープラン」において、「農業環境保全ゾーン」として位置付けられており、野々市ブランド創出の基礎となる優良な農地の保全を図ることを原則とし、20年後も、将来的にも農業環境の維持・保全を図る地区であると考えている。

- Q** 本市の市街化は、将来の人口増加に伴う必要最低限の市街化であるべきだと考えるが、20年後、更にその将来の姿について、本市の南西部地区の市街化調整区域は、どのようなイメージをしているか？
- A** **市長** ●本市の南西部地区については、市の「都市計画マスタープラン」において、「農業環境保全ゾーン」として位置付けられており、野々市ブランド創出の基礎となる優良な農地の保全を図ることを原則とし、20年後も、将来的にも農業環境の維持・保全を図る地区であると考えている。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/mkiLuV>



安原 透 議員

「若い世代の市民」に向けた市民協働の仕組みづくりと、推進・支援は

連合町内会と一緒にあって若い世代を担い手として地域に参加することができる仕組みづくりを考えていきたい

Q 市民協働のまちづくりについて現状までの評価と課題について、また若い世代の市民に対し市民協働の仕組みづくりをどのように推進・支援されるか。

A 市長 ● 本市においては人口の増加に伴い地域コミュニティや市民の連帯感の希薄化が懸念されるところだが、市民の皆様には、町内会活動等を中心に大変ご協力をいただいている。

現状の評価としてはこれまで指針や条例の策定に関わっていただいた市民の方々が、継続してまちづくりに関わっていただいていることもあり、市民協働の機運の盛り上がりを感じられ、大変ありがたく思っている。課題としては、いろいろな取組みについての情報の発信が、まだあまり知られていないという市民の意見もあり、市民の方々と連携を図り、情報の共有および発信に努め、市民の皆様にお伝えしていきたいと思っている。地域コミュニティの強化については、連合町内会と相談しながら若い世代を担い手として一緒に取

市民協働のまちづくり、
現状までの評価と課題は



野々市小学校

Q 本市人口が増加をしている、これから本市の未来を担う子供たちが増えていく中、学校と一緒にあって、保護者や地域の皆さんが参画して市民総がかりで子どもの成長にかかわっていく「学校運営協議会制度、コミュニティ・スクール」の導入に向けた仕組みづくりが必要ではないか。

A 教育長 ● 学校運営協議会の設置については、地域や保護者の方の参画により、地域とともにある学校づくりに有効な方法だと考

学校運営協議会制度、コミュニティ・スクールについて

教育長 ● 学校運営協議会の設置については、地域や保護

Q 御園小学校のクーラー設置時期は

A 補正予算案に御園小学校のクーラー設置のための予算が計上されたことに同校区に住むものとしてほっとしている。私も文科省に予算決定を要請してきたが少しはお手伝いできたのではないかとと思う。設置時期はいつになるか。

教育文化部長 ● 先般、国から事業採択の内定通知があった。夏休み期間を利用して工事を行い、8月末までに完了するよう予定している。

Q 再開園の中央保育園存続の事業計画を

A かねてより改築して存続するよう求めてきた。市は再開園の活用期間を5年程度としているが、中央保育園を市の保育事業計画にきちんと位置付けて将来にわたって存続し、公的責任を果たすよう求める。

市長 ● 今後の保育ニーズを考慮しながら、存続も含めて在り方を検討していきたい。

Q 再開園の中央保育園存続の事業計画を

A かねてより改築して存続するよう求めてきた。市は再開園の活用期間を5年程度としているが、中央保育園を市の保育事業計画にきちんと位置付けて将来にわたって存続し、公的責任を果たすよう求める。

市長 ● 今後の保育ニーズを考慮しながら、存続も含めて在り方を検討していきたい。

Q 再開園の中央保育園存続の事業計画を

A かねてより改築して存続するよう求めてきた。市は再開園の活用期間を5年程度としているが、中央保育園を市の保育事業計画にきちんと位置付けて将来にわたって存続し、公的責任を果たすよう求める。

市長 ● 今後の保育ニーズを考慮しながら、存続も含めて在り方を検討していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/MM5DXu>



岩見 博 議員

金沢市との「連携中枢都市圏形成の協約締結」行政サービスを後退させることになるのでは

参加することで行政サービスの向上が期待できる

Q 政府は、連携中枢都市（金沢市）に、圏域全体の経済成長を牽引する役割と高次の都市機能の集積、強化の役割を果たせるとしている。それは一方で周辺自治体、本市の行政サービスを後退させ、金沢市との間に格差の拡大をもたらすことになるのではないか。

A 市長 ● 連携中枢都市圏構想の目的は、単に効率を優先させるためでなく、市民が安心して快適に暮らせるための圏域をつくっていくということ協賛しており、参加することによって、むしろ行政



再開園した市立中央保育園

Q 連携中枢都市圏を形成するとは静かなる合併と言っても過言ではない。ところが市民は連携中枢都市圏構想とはどのようなものか知らされていない。市民の理解が得られるまで協約締結は延期を。

A 市長 ● 連携中枢都市圏構想は、市町村合併によらず柔軟な自治体間の連携によって圏域の拠点性を高めていくもの。協約締結後、広報やホームページ、いろんな機会

市民が知らない
「連携中枢都市圏構想」
——協約締結は延期を

サービスの向上が期待できる。

Q 再開園の中央保育園存続の事業計画を

A かねてより改築して存続するよう求めてきた。市は再開園の活用期間を5年程度としているが、中央保育園を市の保育事業計画にきちんと位置付けて将来にわたって存続し、公的責任を果たすよう求める。

市長 ● 今後の保育ニーズを考慮しながら、存続も含めて在り方を検討していきたい。

Q 再開園の中央保育園存続の事業計画を

A かねてより改築して存続するよう求めてきた。市は再開園の活用期間を5年程度としているが、中央保育園を市の保育事業計画にきちんと位置付けて将来にわたって存続し、公的責任を果たすよう求める。

市長 ● 今後の保育ニーズを考慮しながら、存続も含めて在り方を検討していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/CaczDW>



土田 友雄 議員

増加する民生費 その要因と、今後の見通しを問う

子育て世帯も多く今後も増加傾向にあるが、適切なサービスの提供に努めていきたい。

Q 「椿荘」の運営について
ふれあい憩いの場である「椿荘」、公平公正に利用できるように対策を求める。

A 市長 ● 館内の巡回を徹底し、特に新しく利用された方々には、職員からの声かけなど、また利用者の皆様には、お互いに譲り合ってマナーを守っていただければよい。

Q 民生費が大幅に増加した要因と、今後の見通しを問う。

A 市長 ● 市制移行に伴う生活保護費や児童扶養手当など、権限移譲による事務を市として行うことによるものがある。また、本市は子育て世帯の割合が大きく、子育て世帯の転入による児童数の増加

「椿荘」の運営について

A 産業建設部長 ● 被害を軽減するというのが目的を主眼において避難勧告等を発令する際には、空振り恐れず、さまざまな伝達手段を用いて防災情報を市民の皆様にお知らせしたい。

市民が自主的に避難する体制づくりが大事である

A 市長 ● 本市においては情報伝達を含め、水防実施計画を作成しているが、引き続き水防体制の強化に万全を期していく。

Q 大雨による防災体制を整え、それによって市民が自主的に対策や避難をする体制を構築すべきであると考え、市の考えを問う。

豪雨による水害対策について



老人福祉センター 椿荘

う周知をして楽しく過ごしていただくよう運営していきたい。

また、レクリエーションやサークル活動など事業内容についても検討したい。

増加する民生費について

Q 民生費が大幅に増加した要因と、今後の見通しを問う。

A 市長 ● 市制移行に伴う生活保護費や児童扶養手当など、権限移譲による事務を市として行うことによるものがある。また、本市は子育て世帯の割合が大きく、子育て世帯の転入による児童数の増加

A 市長 ● 市制移行に伴う生活保護費や児童扶養手当など、権限移譲による事務を市として行うことによるものがある。また、本市は子育て世帯の割合が大きく、子育て世帯の転入による児童数の増加

は子育て世帯の割合が大きく、子育て世帯の転入による児童数の増加

が、民生費増加の要因の一つである。市政が通年となって以降、今後も同じような割合で推移していくと考えている。引き続き、適切なサービスの提供に努めていきたい。

Q 視察先の四国各地では観光客の満足度は「食」集客のキーワード「イベント」という「キーワード」を見出したが、市の考えるにぎわい創出とは

A 市長 ● ヤーコン生産組合の積極的な活動は、まさに「民・農・学・官」が、一体となって取り組んでいる成果だと考える。

ご提案の「地域の食」を前面に打ち出した内容にとどまらず、行事とタイアップした「冬のイベント」ができないか、観光物産協会とも相談させていただき、本市の魅力が人から人へ伝わることを期待する。

地域のさまざまな資源を活用した取り組みをさらに後押ししていきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/OyhVtR>



辻 信行 議員

自主防災資機材整備費補助金、補助率を上げるべきではないか

それぞれの組織において、真に必要な資機材について、検討をいただきたい。



市内にある防災資材倉庫

Q やさいづくりや花づく

A 市長 ● 地域の实情に合わせた柔軟に活用いただけて、避難行動要支援者名簿については、法律により目的以外の用途には使用できないこととなっておりますので、統一したマニュアルを作成することはできません。それぞれにおいてマニュアルを作成して町内会などに配布をしている。活用に関しましては、有益な活用となるように利用いただきたい。

Q 自主防災会組織を維持、継続していくには町内会の会計面での負担が少なからず影響している。自主防災資機材の整備の補助金あるいは補助率を再考することも含めて、考えを問う。

A 市長 ● 補助対象経費の2分の1に相当する額を補助しており、平成25年度は8町内会より704,000円、平成26年度は18町内会より1,791,000円と年々申請額が増えてきております。市民の防災意識の高揚と組織内の連

Q 自主防災会組織を維持、継続していくには町内会の会計面での負担が少なからず影響している。自主防災資機材の整備の補助金あるいは補助率を再考することも含めて、考えを問う。

A 市長 ● 補助対象経費の2分の1に相当する額を補助しており、平成25年度は8町内会より704,000円、平成26年度は18町内会より1,791,000円と年々申請額が増えてきております。市民の防災意識の高揚と組織内の連

携強化を図るためには意見交換は大切であり、組織内で一定の話し合いを促すために有効である既存の補助制度を維持していきたい。

Q 地域福祉計画・地域活動計画について

A 市長 ● 地域の実情に合わせた柔軟に活用いただけて、避難行動要支援者名簿については、法律により目的以外の用途には使用できないこととなっておりますので、統一したマニュアルを作成することはできません。それぞれにおいてマニュアルを作成して町内会などに配布をしている。活用に関しましては、有益な活用となるように利用いただきたい。

Q 地域福祉計画・地域活動計画について

A 市長 ● 地域の実情に合わせた柔軟に活用いただけて、避難行動要支援者名簿については、法律により目的以外の用途には使用できないこととなっておりますので、統一したマニュアルを作成することはできません。それぞれにおいてマニュアルを作成して町内会などに配布をしている。活用に関しましては、有益な活用となるように利用いただきたい。

Q 地域福祉計画・地域活動計画について

A 市長 ● 地域の実情に合わせた柔軟に活用いただけて、避難行動要支援者名簿については、法律により目的以外の用途には使用できないこととなっておりますので、統一したマニュアルを作成することはできません。それぞれにおいてマニュアルを作成して町内会などに配布をしている。活用に関しましては、有益な活用となるように利用いただきたい。

Q 地域福祉計画・地域活動計画について

A 市長 ● 地域の実情に合わせた柔軟に活用いただけて、避難行動要支援者名簿については、法律により目的以外の用途には使用できないこととなっておりますので、統一したマニュアルを作成することはできません。それぞれにおいてマニュアルを作成して町内会などに配布をしている。活用に関しましては、有益な活用となるように利用いただきたい。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。

Q 新図書館の愛称を市民から公募してはどうか

A 市長 ● 新市立図書館が、多くの市民に親しまれ、情報発信の役割を果たし野々市市の生涯学習の新たな拠点となることに、大きな期待をしています。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/r01HVT>



宮前 一夫 議員

野々市市立布水中学校前横断歩道の安全確保を図れ

確認の上、生徒の安全を気にかけていた。
できることから対応する。



布水中学校前の横断歩道

Q 昨年12月開催された野々市市商工会主催の「年末年始における防犯・交通事故防止懇談会」において、布水中学校校長からいただいた学校前横断歩道の危険な横断歩道についての報告に対して、市としての見解を伺う。

A 市長 ● お話の通りその席上、学校長から「横断歩道を生徒が渡るうとしてもなかなか車が止まってくれない」という話を直にお聞きしている。その後私も現地へ足を運び確認をしている。道路状況は付近の信号交差点と横断歩道まで高低差があり、高木・低木の植栽などで車両運転者からは横断歩行者が見えにくいと感じ、横断時の生徒の安全を気にかけている。

Q 横断歩道の歩行者を見えやすくする環境整備を

A 市長 ● 要望事項を5点頂いているが、順を追って対応については、車両運転者からの歩行者視認の妨げになる植栽については、移植・伐採の対応を調整している。電柱の移設については過去の交通事故の発生を受けて現在の位置に移設した経緯もあり、再度電柱の管理者とは協議を行っていききたい。また、道路照明灯については電柱に添架するなど検討していく。さらに、交通安全の注意看板は運転者の視認を妨げるものは撤去していきたいと考えている。横断歩道標識柱の移設については、白山警察署に照会したが、横断歩道の場所及び範囲をあらわすものでもあり移設できないという回答であった。その代替え安全策として、横断歩道標識の下部に運転者の視界に合わせた位置に、新たに横断歩道標識の設置を要望していききたい。ほか、道路幅員を実質的に狭める



「布水中学校 PTA」・「花の会ふすい」による学校前の花壇



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PC からは、 <https://goo.gl/SFYBXv>



大東 和美 議員

結婚新生活のための居住費の支援

内閣府が、平成27年度補正予算で打ち出した制度は、
本市では採択要件が合わないので申請しない。

Q 地元企業の求人情報と相談窓口の設置を

A 市長 ● 現在、職業安定法改正などが国会に提出される予定となっている。今後も国からの詳細な情報や他の自治体の動向にも注視しながら、本市として必要な対応を考えていきたい。

Q 地方版ハローワークに参加予定、その時期、内容について伺う。

A 市長 ● 現在、職業安定法改正などが国会に提出される予定となっている。今後も国からの詳細な情報や他の自治体の動向にも注視しながら、本市として必要な対応を考えていきたい。

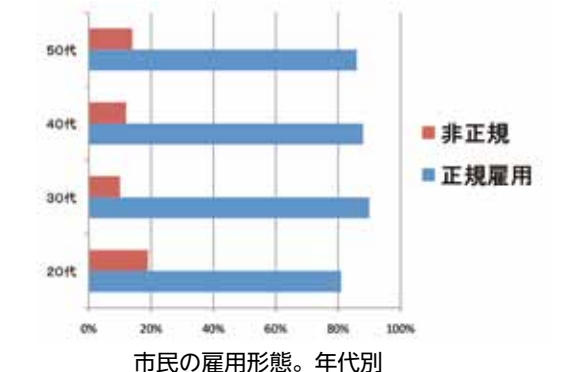
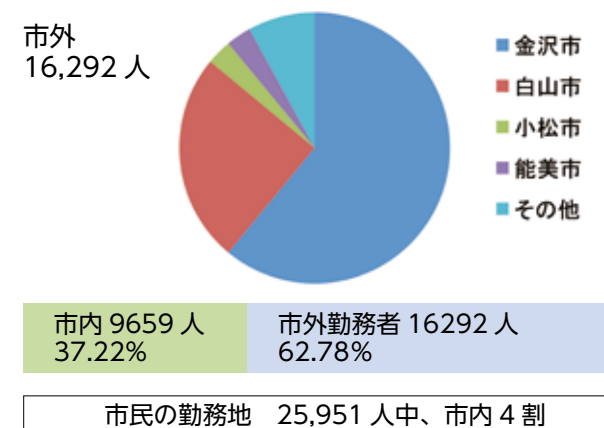
結婚できない理由
経済的理由
出会いがない 他



結婚できない理由
経済的理由
出会いがない 他

Q 本市独自の条件で新生活に向けた住居にかかる費用を支援してはどうか。

A 市長 ● 低所得者向けに市営住宅や県営住宅がある。勤労者生活安定小口資金融資制度や、自己住宅資金利子補給制度など新生活の費用支援がある。



* H22 国勢調査 資料から (平成 23 年 11 月 11 日市政施行)

Q 地元での防災士養成講座の開催を提案

A 総務部長 ● 地域の防災力を高めるうえで、男女を問わず、防災リーダーとして自発的な活動が期待できる防災士の養成については、大変重要なこと。地元での養成講座は、参加しやすく、多くの防災士を育成する有効な手段と考える。しかし、受講者数、受講料の町内会負担や個人の受講者の把握など課題もある。現状では、石川県が主催する防災リーダー育成事業を活用し、今後、地域の要望などがあるならば、対応したい。

なぜ今、女性防災士が必要なのか？



昨年夏の野々市市総合防災訓練における、野々市小学校体育館での避難所訓練風景 (2015 年 8 月)



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PC からは、 <https://goo.gl/8ABP7A>

◆議長 早川 彰一

◆副議長 中村 義彦（新任）



◆議会選出監査委員

大東 和美

◆議会運営委員会

委員長 土田 友雄
副委員長 尾西 雅代
委員 北村 大助・西本 政之（新任）
杉林 敏・辻 信行

◆総務産業常任委員会

委員長 辻 信行
副委員長 馬場 弘勝
委員 北村 大助・宮前 一夫・金村 哲夫
土田 友雄・岩見 博

◆教育福祉常任委員会

委員長 西本 政之（新任）
副委員長 安原 透
委員 五十川 員申・中村 義彦
杉林 敏・尾西 雅代・大東 和美

◆予算決算常任委員会

委員長 杉林 敏
副委員長 宮前 一夫
委員 議員全員

◆議会広報委員会（名称変更）

委員長 辻 信行
副委員長 宮前 一夫
委員 五十川 員申・北村 大助
安原 透・大東 和美・岩見 博

◆会派変更 ※正副議長は会派に属さない

☆市政議員会 代表 土田 友雄
杉林 敏・宮前 一夫
安原 透
☆フォーラム・エヌ 代表 馬場 弘勝（新任）
尾西 雅代・北村 大助
☆互 鈴 代表 辻 信行
金村 哲夫・西本 政之
☆日本共産党 代表 岩見 博
☆公明党 代表 大東 和美
☆考える会 代表 五十川 員申

◆白山石川医療企業団議会議員

金村 哲夫（新任）・辻 信行
岩見 博

◆白山野々市広域事務組合議会議員

中村 義彦・杉林 敏・尾西 雅代

◆石川県後期高齢者医療広域連合議会議員

早川 彰一

◆手取川水防事務組合議会議員

早川 彰一

白山野々市広域事務組合議会



新最終処分場整備事業（イメージパース）

3月25日に平成28年第1回白山野々市広域事務組合定例会が開催されました。

平成28年度一般会計51億72,542千円の承認、新最終処分場整備事業に係る工事費の減額等により1億46,000千円を減額する平成27年度一般会計補正予算

の承認など計9件を原案のとおり可決しました。

また、事務局から旧鶴来消防署跡地の売却報告や新最終処分場整備事業に係る電気設備工事、機械設備工事等3件の入札結果の報告がありました。

本組合では、ごみ処理、し尿処理、消防救急業務及び白山郷斎場の運営を行っています。

組織変更に伴う議会人事

議長に竹田伸弘氏（白山市議）を選出しました。

白山石川医療企業団議会

二病院の新年度事業予算を可決

3月25日、白山石川医療企業団議会定例会が開かれ、公立松任石川中央病院と公立つるぎ病院の新年度事業会計予算など議案9件を可決しました。

2病院と3診療所が一体となった地域包括ケアシステムの構築を進めると共に、各病院がそれぞれの機能を充実させ、住民の期待にこたえられる良質な医療・介護の提供と、健全で安定した経営に努めています。

公立松任石川中央病院事業会計収入※
108億4百万円のうち
野々市市負担額1億3千8百万円
白山野々市広域事務組合の歳入総額
51億7千2百万円のうち
野々市市負担額8億2千8百万円
※資本的収入も含む

組織変更に伴う議会人事

新たに小川義昭氏（白山市議）を議長に、金村哲夫氏（野々市市議）を副議長に、それぞれ選出しました。



手術支援ロボット「ダヴィンチ」（公立松任石川中央病院）
これまでに、25件の前立腺がん全摘出を実施

6月定例会の日程が決まりました

▼期間

6月9日（木）～24日（金）16日間

▼開会

9日（木）午前10時

▼一般質問

16日（木）・17日（金）両日とも
午前9時30分から

▼予算決算常任委員会

20日（月）午前10時

▼総務産業常任委員会

23日（木）午前10時

▼教育福祉常任委員会

21日（火）午前10時

▼閉会

22日（水）午前10時

24日（金）午後2時



議会傍聴をお願いします



大正4年3月生まれの私は、旧柳田村五十里を出ましてから息子夫婦と同居し、43年間の月日が流れました。現在3人暮らしです。4年ほど前までは、手押し車に掴まりながら家の廻りを達者に散歩も出来まし

おかげさまで 101歳

西 たまきさん(上林)

だが、少しずつ帰れなくなったり、身の回りもおっくうになる時もありました。食事はしっかり頂くことが出来、息子の晩酌を失敬する事も

ございます。さすがに100歳になる頃から記憶が曖昧になってきました。お嫁さんはパートを辞められ、2年程経ってから次は息子も経営していた会社を辞めて、悪戦苦闘しながらでも毎日毎日、私の生活をサポートしてもらっています。介護認定3で息子夫婦にはいろいろとたいそうな思いをかけておりますが、おかげさまで今年、101歳になりました。

生活の一切を富樫苑のデイサービスと息子夫婦の在宅介護に身を任せてお世話をいただいております、幸せです。



待ちどおしい 野々市文化交流 拠点施設の完成

よしゆき
白坂 禎丈さん(太平寺4丁目)

太平寺4丁目地内に在った県立養護学校が移転してからしばらく、その跡地に2015年9月定例会の議会だよりで新市立図書館と文化交流拠点施設の併設、建設事業が議決されたことを知り、同じ町内の住人として喜ばしい限りでした。

3月31日には建築計画のお知らせ

看板が設置され、それによりまずと今年8月1日着工、来秋10月31日完成予定となっております。是非、市民の足が自然と向く様な、気軽に集まれる、老若男女多くの市民の憩いの施設、文化交流拠点として充実した中身のある、市のランドマーク的な名実ともに立派な完成を



心待ちに致しております。近接する“フォルテ”のような親しまれる愛称を市民より公募するなりしてお考えいただけたらと思います。

編集後記

28年度4月から議会だより編集委員会の名称を議会広報委員会に改名致しました。26年4月に創刊号が発行されてから、試行錯誤しながら28年3月定例会議会だより9号の発行まで来ました。その間、一般質問のページは各人半ページ3段組みから各人1ページ3段組みとして、読みやすさと解かりやすさを考えてまいりました。また各自の一般質問は、下段のQRコードから動画配信をご覧いただけます。皆様の評価はいかがででしょうか？

今年度の表紙は、子どもをテーマにして各地域の催事を伝えているかと思っております。

これからも、議会活動を市民に分かりやすく知らせることに最重点をおき、不偏不党を原則とした誌面づくりと内容で、議会活動が市民の関心事の一つにまで成長できるように広報づくりを目指してまいります。皆様のご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

議会広報委員会
委員長 辻 信行

お問い合わせは、左記記載の市議会もしくは、メールでお願い致します。